

書籍追加のお知らせ 2006年4月()

Jigsaw Jones Mystery Series から 10 巻

Nate the Great と同じく、他愛のない事件を「私立探偵らしく」解決しようとする Jigsaw 君が微笑ましいです。Nate より長いので、ストーリー的にはこちらの方がよみがいがあります。(これらは先に実教教室に入れます。逆に Nate のシリーズは習志野台に順次移動します。)

● The Case of Hermie the Missing Hamster YL : 2.4 総語数 : 6,400

Jigsaw Jones は、1 日 1 ドルで依頼を引き受ける小学 2 年生の私立探偵。パートナーの少女、Mila と共に様々な事件に挑んでいくシリーズの第 1 巻。Wingnut という少年が、彼のハムスター、Hermie が行方不明になったと Jigsaw の事務所を訪れ、ハムスターの搜索を依頼する。果たして Hermie は何処へ消えたのか？

● The Case of the Christmas Snowman YL : 2.5 総語数 : 6,000

● The Case of the Mummy Mystery YL : 2.5 総語数 : 4,100

● The Case of the Great Sled Race YL : 2.5 総語数 : 4,500

● The Case Of The Race Against Time YL : 3.0 総語数 : 7,400

● The Case of the Secret Valentine YL : 2.5 総語数 : 6,000

● The Case of the Stolen Baseball Cards YL : 2.5 総語数 : 4,800

● The Case of the Detective in Disguise YL : 3.0 総語数 : 5,800

● The Case of the Stinky Science Project YL : 2.5 総語数 : 4,700

● The Case of the Ghostwriter YL : 2.5 総語数 : 4,500



● Kitchen Table Talk YL : 4.3 総語数 : 12,000

Texas 生まれの著者 Kay は、1991 年から日本で米国文学や文化を教えている。また、NHK のラジオ講座の講師でもあった。米国人から見た日本人と日本文化についてのエッセーである。外国人の観点から自分達の文化、風習を見ると、違った側面が見えて新鮮な驚きを与えてくれるものである。う~む、なるほど、言われてみるとそうか、というお話が一杯で面白い。NHK ラジオのテキストに連載された、この Kay さんのエッセー集は American Pie が第 1 弾であり、これが第 2 弾となる。高校 2-3 年レベルのリーダーの教科書にも採用されているくらいのレベルである。American Pie のほうは CD つきで次回仕入れ予定です。

● Takes and Mistakes YL : 3.0 総語数 : 9,600

同じ NHK 出版の「American Pie」や、「Kitchen Table Talk」に続く第 3 弾。前の 2 シリーズより読みやすい。でも面白くて深い。著者が日本に来て感じたいろいろなカルチャーショックについて素直に愉快地書かれていて「くすくす!、なるほどねえ。」という感じです。「猿も木から落ちる」と聞くと平均的なアメリカ人は「猿のようにバカなミスをしやがって、今度は落ちないように真面目にやれ。言い訳なんか聴かないぞ」という意味合いに感じるんだとか。



● My Humorous World (1~3 の 3 巻) YL : 4.4 ● 総語数 : 31,000

滞日 20 余年、英語教師をする著者が、パリ、中国、ソビエト、バルカンからインド、フィリピン、インドネシア、タイなど様々な国を訪れた際のエピソードを、ある時は英国人の目で、ある時は日本と比べてユーモアたっぷりに語る、読む世界一周。

● ダレンシャン伝説シリーズが完結の 12 巻そろいました。

多くのタドキストが目標とするハリーポッター。でもその前にぜひ一読をお勧めしたいのが、このダレンシャン伝説シリーズです。読みやすさレベルが 5.5 くらいですので 7.5 あたりのハリポタより読みやすいです。登場人物も専門用語もハリポタよりシンプルです。ハリポタは最初から夢の世界に入っていくのに対して、こちらは、もしかしたら現実に起こりうるかも。。という気にさせてくれるような話の展開です。第 1 巻の Cirque Du Freak は、日本語版（奇怪なサーカス）でも購入してあります。この日本語版は学校図書館協議会選定図書にもなっていますので、小学校の図書館にも置いてあるはず。



● English Zone 定期購読開始 Y.L. 3.5 総語数：28000

日本人英語学習者向けの英文雑誌です。「中級以上をめざすあなたの英語メディア」と表紙に書かれているように、結構難しい記事も含まれていますが、日本の有名人とのインタビュー記事なども多く、すでに背景のわかっている内容については、とばし読みで理解できるでしょう。無理に全部読もうとせずに、興味のあるものだけ拾い読みするのをお勧めします。読上げCD付き。ネット上で全記事の日本語訳が公開されていますので、どうしても意味を調べたい時は便利。

● The Magic Key Y.L. 2.5 総語数：2000

SSS のメルマガで紹介されていた子供向け英文雑誌です。Oxford Reading Tree シリーズのキャラクターが登場する子ども向けの雑誌で、ORT ファンに特におすすめ。イギリスで 5-7 歳の子ども向けに発行されているものです。とは言え、英語学習者向けではありませんので、知らない単語も遠慮なしに出てくるかも。。



● 耳から英語マガジン

「ポッドキャスト」ってご存知でしょうか？ 1 年ほど前から盛んになっていて、なんとと言えばいいのかわからないくらい、インターネット上のラジオ局（無料が基本）のようなものです。アップルコンピュータ社の iPod が世の中に出てから、音楽はネット上でやり取りするのがあたりまえになり、最近は新曲をダウンロードだけの発売にして、CD を作らない歌手も出てきました。iPod やその他のデジタルオーディオプレーヤーに音楽をダウンロードするときを使うソフトが iTunes（無料）なのですが、これがなかなかの優れものです。曲のダウンロードや編集だけでなく、オーディオブックの購入や上記のポッドキャストで英語ニュースの自動配信を受けたり、音楽専用のラジオ局につなげば好きなジャンルの音楽で BGM を流すこともできます。このように現在ではネット上に、音楽だけではなく、英語関連のポッドキャストや、外国の放送局の音声配信など、英語耳を鍛えるのに役に立つものがいっぱい。。しかも、無料のものが多い。それらの情報を集めたのがこの雑誌です。

● Dolphin Readers

Oxford 大学出版から一年ほど前に出た子供向け副読本です。ORT とはだいぶ雰囲気異なり、練習問題のようなページが多く、より「学習」っぽい感じです。レベル 0 から 4 で、とりあえず計 6 冊入れました。

